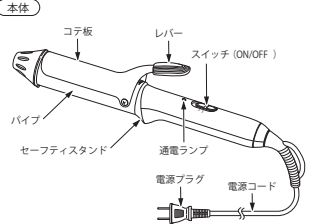




### 各部のなまえ

本体



**注意** ふつけたり、落としたりすると、パイプが傷付いたり割れたりするおそれがあります。

**高温・やけどに注意**  
使用中 部分は大変熱くなります。顔や手が直接触れないようにご注意ください。

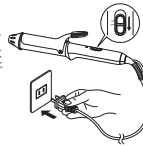
**警告** パイプは高温になっていますので、直接肌に触れないようにしてください。やけどの原因となります。見えにくい部分、首筋や顔まわりの髪、前髪にアイロンをかけるときは特に注意してご使用ください。

12

### 正しい使いかた

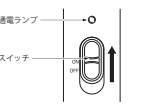
#### 1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

●電源プラグが付いた手で本体を触らないでください。本体およびパイプ部の発熱の原因となります。



#### 2 電源を入れます。


スイッチを「ON」にします。(通電ランプが点灯します。)  
●約2〜3分でご使用できます。



#### 3 使用后

①スイッチを「OFF」にします。(通電ランプが消灯します。)  
②電源プラグをコンセントから抜きます。

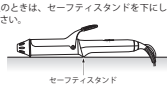
やけどに注意!  
電源OFF後、約30分はパイプは高温です。



13


### 正しい使いかた

パイプが高温のときは、セーフティスタンドを下に安定した場所に置いてください。



●ざり袋等、滑けやすい物の上に置かないでください。

**警告** 電源コードの取り扱いについて  
下記について、必ずお守りください。  
電源コードが断線し、ショート・発火・けがの原因となります。  
●常に電源コードはゆとりをもった状態で使用する。(図1)  
●電源を抜かない・引っぱられた状態で使用しない。(図2)  
●電源コードによじれをおこさない。(図3)  
●本体に電源コードを巻き付け、収納しない。(図4)  
●電源コードが真横に床を持っているときは使用しない。(図5)



14

### 上手な使いかた

#### タイリングする前の下準備


#### 1 洗髪後の場合

髪を湿り気が残る程度までドライヤーで乾かします。

#### 2 充分にブラッシングをして、からまり・ほつれ・抜け毛を取り除きます。

#### 3 ブロッキングをします。

ブロッキングとは、セットしやすくするために髪を取り分ける作業です。



**注意** スタイルング剤(セット剤)等は、アイロンをかけた後にご使用ください。

15

### 上手な使いかた

#### アイロンをかける

アイロンをかける順番 下半分 → 上半分 → 前髪

**※内巻き** 巻き始めはコテ板を外側にしてはさむ。

**※外巻き** 巻き始めはコテ板を髪の内側にしてはさむ。

**※ウェーブ** 髪の根元をさみ、内巻きも外巻きをくり返しながら毛先までずらす。

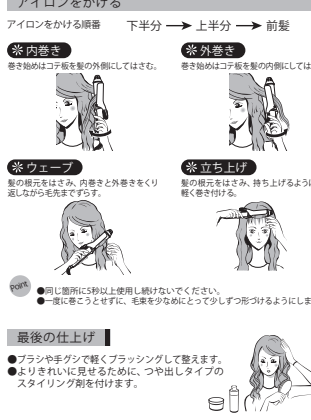
**※立ち上げ** 髪の根元をさみ、持ち上げるようにして軽く巻き付ける。

**ポイント**

- 同じ箇所5秒以上使用し続けしないでください。
- 一度に巻こうとせずに、毛束を少なめにとって少しずつ形づけるようにします。

#### 最後の仕上げ

- ブラシや歯ブラシで軽くブラッシングして整えます。
- よりきれいに見せるために、つや出しタイプのスタイリング剤を付けます。



16

### 上手な使いかた

#### アレンジヘア

##### ボリュームウェーブ

①フェイスラインの髪は外巻きにし、耳下の髪は毛先から髪の中間まで内巻きに巻いていきます。  
②スプレーをかけてスタイルをキープします。

##### 外ねストレート Textured Straight

①髪を外向きのように毛先をアイロンにはさみ、一回転させます。  
②毛先にワックスを付けてセットします。

##### ナチュラルカール Natural Curls

①髪を逆巻取り、毛先から10cm程度まで巻きます。  
②自然な印象に手くしほくし、スプレーでスタイルをキープします。



17

### お手入れと保管のしかた

●必ずスイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからお手入れ・保管してください。

**※お手入れ**

- 本体が汚れたり、整髪料が付着した場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた布でもう一度ふき取ってください。  
※ベンジン、シンナー等は器具を傷めるので使用しないでください。

**※保管**

- ヘアピン等、他の物といっしょに保管しないでください。  
●本体の裏に入り込んだ場合、故障の原因となります。
- 本体およびパイプ面に整髪料や化粧品が付いたら、そのまま放置しないでください。  
●本体およびパイプ面が劣化して、色落ちや故障の原因となります。

**★長年ご使用のAUSカールアイロン直径40mmの点検を!**

**※点検点**

- スイッチを入れた後も、パイプが冷たまるまで待たないでください。
- 電源コードを引っ張らないでください。
- 本体の裏面、裏蓋を確認してください。
- このように電圧計のときは、故障や発熱防止のため、スイッチをOFFしコンセントから電源プラグを抜く必要があります。

18